



すこやかくん



ココロちゃん



チャイルド ふれんず
ゆめくん

小1の不登校が急増!? どうなる幼保小の架け橋期の教育

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。
チャイルドグループの各事業部のノウハウをお届けします。

Topic

文部科学省は、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する報告」にて、小1の不登校児が2022年度時点で全国に6,668名おり、2年前から倍増、10年前からは約7倍になったことを報告した(2023年10月4日)。

総人口に占める小1年次の人間が約100万人いるので、割合でいえば約0.7%に過ぎないが(人口統計(2022.10.1))、統計値上グレーゾーンのケースや教職員の働き方改革等で混乱する学校教育現場からしても、無視できない変化が起きていることが伺える。

急増の要因には、コロナ禍での交流機会の減少、主体性を重視する幼児教育期から小学校での義務教育課程への変化に対応できていない、等様々なものが挙げられる。

文科省は、2021年に「幼児教育スタートプラン」を策定し、7事項を幼児教育に関する基本的な計画と位置付け、その1つである「幼保小の架け橋プログラム」を中核に位置付け、以下の3点の実現を図る。(参照「幼児教育スタートプランのイメージ」)

- ・すべての5歳児に、生活・学習の基盤を保証
- ・幼保小連携で一人一人の発達を把握、早期支援につなぐ
- ・市町村教委と連携し、小学校教育に円滑に接続



プランの策定とともに、「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」が設置し、「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引(初版)」及び「同手引の参考資料(初版)」が策定された。

手引では、「5歳児から小学校1年生の2年間」を「架け橋期」と定め、この2年間を対象とする「架け橋期のカリキュラム」を幼保小の教職員が協働して策定することを、そのイメージや4つのフェーズ(基盤づくり→検討・開発→実施・検証→改善・発展サイクルの定着)から説明する。(参照：同手引内「架け橋期のカリキュラムについて、園・小学校での具体化の進め方(各フェーズ)のイメージ」)

現実の教育・保育施設の運営に携わる者の視点からして、具体的な個別の問題(例えば、不登校や問題行動等)が顕在化してもいない状況で、集団保育を行う教育・保育施設、と更に人数を大きくして集団教育を行う小学校、各々の教職員が公的施設へ高まる社会的要求に応えようと、疲弊しながら日々の運営・教育・保育をなんとか維持している各施設にそんなこと出来るのか、と大いに疑問を感じるころではある。

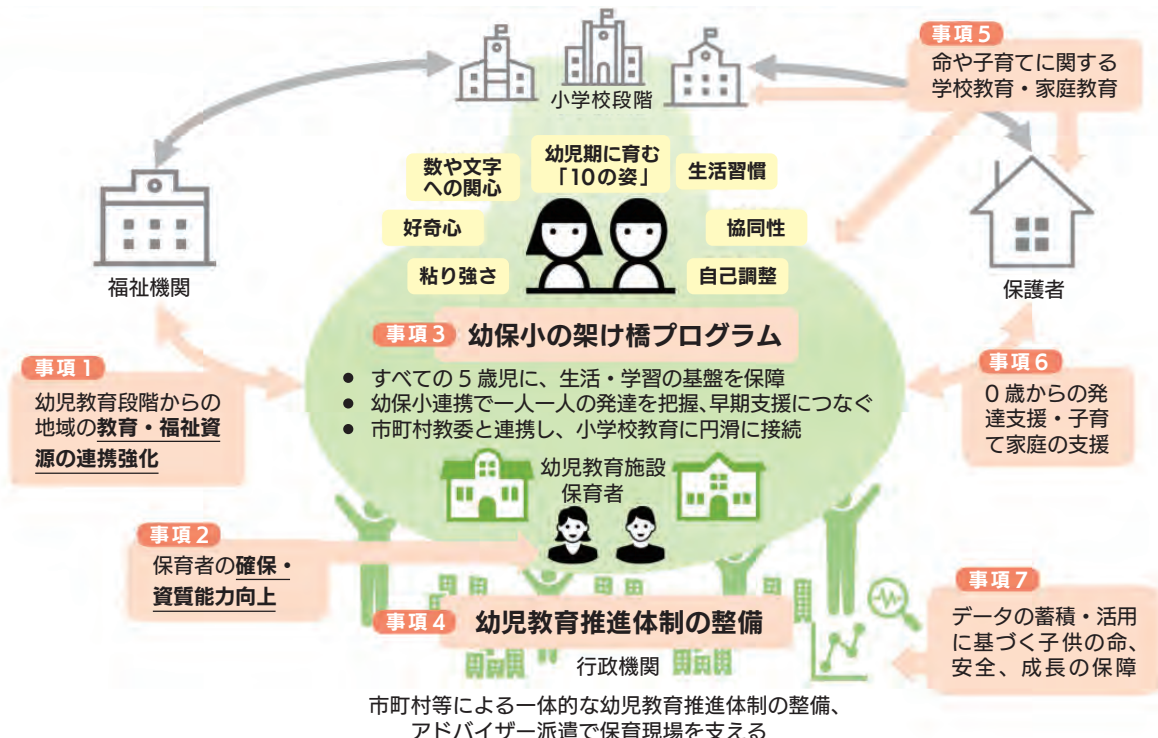
しかしながら、幼児教育・保育の業界が、少子化と定員充足率低下による大きな変化の時代を迎え、日本経済新聞に「保育園「大閉鎖」の波」と特集される中、「幼保小の連携」、「架け橋プログラム」への積極的な姿勢・関与が、法人・園を助けることになるやもしれない。

その意味で、このテーマへの情報収集が欠かせない状況であろう。

幼児教育スタートプランのイメージ

以下の事項を、幼児期の教育に関する基本的な計画と位置付け、一体的に実行することで、子供の未来への架け橋となる社会システムを構築。

令和3年7月15日
第125回教育課程部会
参考資料 2 - 1



架け橋期のカリキュラムについて、園・小学校での具体化の進め方(各フェーズ)のイメージ

フェーズ1 (基盤づくり)

園の教育課程・指導計画

見通してはいるが、別々に検討・作成

小学校の教育課程・指導計画

フェーズ2～4 (検討・開発～改善・発展サイクルの定着)

	0歳～	5歳児	小学校1年生	小学校2年生～
共通の視点として考えられる項目例		4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	
①期待する子供像				
②遊びや学びのプロセス				
③園で展開される活動/小学校での生活科を中心とした各教科等の単元構成等				
④指導上の配慮事項	先生の関わり 環境の構成・環境づくり	園長・校長を含む幼保小の先生の協働「開発会議での方針」の具体化		
⑤子供の交流				
⑥家庭や地域との連携				

事業部紹介

株式会社 幼保経営サービス コンサルティング部

チャイルド社グループの幼保経営サービスだからこそできる経営コンサルで園を強力にサポートしています。

①経営・運営コンサル ②マーケティング・ブランディングコンサル ③新園・新施設設立コンサル ④認定こども園移行コンサルなどに関して、分析・助言・提案・サポートを行っています。



株式会社 幼保経営サービス

コンサルティング部 ディレクター 東京弁護士会所属 柴田 洋平 (弁護士・保育士)

TEL 03-6915-1910 Email yohokeiei_consulting@child.co.jp

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

